

JBL

HARMAN

EVEREST 100

取扱説明書

安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止 (してはいけないこと) を示す記号です。

水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

分解 してはいけないことを示す記号です。

指示 に基づく行為の強制 (必ず実行していただくこと) を示す記号です。

濡れた手 で扱ってはいけないことを示す記号です。

電源アダプタ をコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

触 れてはいけないことを示す記号です。

警告

煙 が出る場合、異常なおいや音がする場合は、すぐに電源を切る。煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社サービスセンターに修理を依頼してください。

水道 の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。火災・感電の原因になります。

本機 の内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、販売店または弊社サービスセンターに点検を依頼する。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

アルコール・シンナー などの引火性溶剤の近くに設置しない。引火性溶剤が本機内部の電源部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

分解 や改造をしない。感電の原因になります。

調理台 や加湿器の近くなど油煙や湯気があたる場所に設置しない。火災・感電の原因になることがあります。

交通安全 のために自転車やバイク、自動車の運転中にイヤホンを使用しない。周囲の音が聞こえにくくなるため、交通事故の原因となります。

歩行中、交差点や踏切、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない。交通事故の原因となります。

注意

ほこり や湿気が多い場所に設置しない。ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となります。

薬物厳禁 ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

電池についてのご注意

電池 の液が漏れたときは直ちに火気より離す。漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。また電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。

● 液が漏れたとき
→ 漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。

● 液が目に入ったとき
→ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。

● 液が体や衣服についたとき
→ すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。

電池 について以下のことに注意する。
本製品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。
● 火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。
● 使用中、保管時に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。
● 電子レンジや高压容器に入れないでください。
● 水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。
● 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
● 所定の時間を超えても充電が終わらない場合は、充電を止めてください。
● 本書で指定している以外の方法で充電しないでください。

Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHzの周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレス電話など）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信 / 受信ができなくなることがあります。
・ 2.4GHz を利用する無線 LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
・ ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
・ テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BS チューナー、CS チューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

注意

- ・ 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ・ 本機は、全ての Bluetooth 機器との接続動作を保証するものではありません。
- ・ 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

- ・ 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- ・ 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しないでください。電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に従ってください。

ご注意ください電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。
ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。
・ 本機を分解 / 改造すること。
・ 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

周波数について

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FHSS (周波数拡散方式) を採用し、想定される与干渉距離は約 10m です。



この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サービスセンターへお問い合わせください。

本機の特長

快適な装着感を実現したデザイン。世界最小クラスの高性能 5.8mm 径ダイナミックドライバーによる高音質サウンド。

◆ Bluetooth 4.1 に対応、最大約 8 時間のワイヤレス再生が可能。また充電はパソコンなどの USB コネクタで手軽に行なえます。

◆ 世界最小クラス、新開発 5.8mm 径ドライバー採用。中高音域の高い解像度とタイトで力強い低音を実現、ハイスピードで鮮明なワイドレンジ再生を可能にします。

◆ 耳にしっかりフィットし快適な装着感を得るために、人間工学に基づき設計したスタビライザーを採用。スタビライザーは簡単に取り外しが可能で、通常のイヤチップのみでもお使いいただけます。

付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

□ 充電用ケーブル

□ 日本語取扱説明書（本紙）

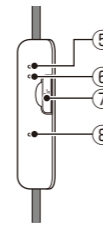
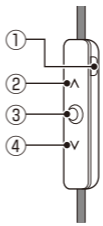
□ スタビライザー (S サイズ / M サイズ / L サイズ) (M サイズ装着済み)

□ 多言語取扱説明書

□ イヤチップ (S サイズ / M サイズ / L サイズ) (M サイズ装着済み)

□ 保証書（日本国内用）

各部の名称



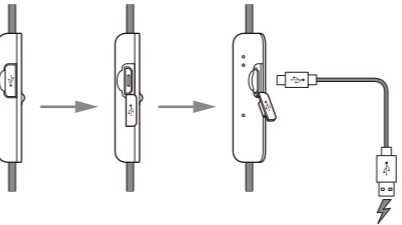
- ① Bluetooth ボタン
- ② 音量+ボタン
- ③ 電源 / マルチファンクションボタン
- ④ 音量-ボタン
- ⑤ Bluetooth インジケータ
- ⑥ 電源インジケータ
- ⑦ USB コネクタ
- ⑧ マイク

充電する

付属の充電用ケーブルを使って充電します。充電時間は約 3 時間*です。

* 充電電池が空の状態から満充電になるまでの時間です。

- ① 本機に充電用ケーブルを接続する。
リモコンのキャップを開け、充電用ケーブルを接続します。
- ② 充電用ケーブルを、お手持ちのパソコンまたは市販の USB 対応 AC アダプタを使用して、コンセントに接続する。
AC アダプタは、5V 1A 以下の市販品をお使いください。



装着する



イヤチップを回しながら、耳にフィットするよう装着します。

・ 本機には 3 種類 (S サイズ / M サイズ / L サイズ) のスタビライザー / イヤチップが付属しています。フィット感に応じてサイズを選んでください。（あらかじめ M サイズのスタビライザー / イヤチップが装着されています。）

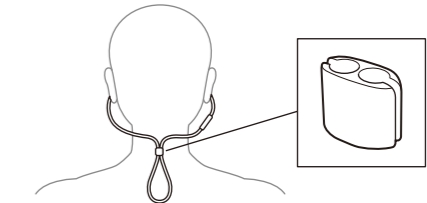
◆ 通話、音量調整、曲のスキップが可能なマイク付き 3 ボタンリモコンを搭載。さらにエコーキャンセリング技術搭載で、高品質なハンズフリー通話をお楽しみいただけます。



Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標です。
Harman International Industries, Incorporated は、これら商標を使用する許可を受けています。
JBL は米国およびその他の国々における Harman International Industries, Incorporated の登録商標です。

Bluetooth® に関するご注意

Bluetooth



ケーブルクリップを取り付ける

下図のようにケーブルクリップを取り付けて、ケーブルの長さを調整してください。

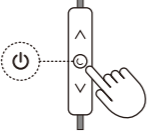
Bluetooth 接続を行う

Bluetooth 機能を使ってワイヤレス再生やハンズフリー通話を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応デバイスを認識させる「ペアリング」が必要となります。

▶ ペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

- 電源ボタンを長押しして、本機の電源を入れる。電源をオンにすると、イヤホンからガイダンス（英語）が流れます。リモコンの Bluetooth インジケーターが青く点滅し、ペアリングモードになります。
- デバイス側でペアリング操作を行い、登録 / 接続する。ペアリングが完了すると、イヤホンからガイダンス（英語）が流れます。
- イヤホンの左 (L) と右 (R) を確認して装着する。



iPhone/iPod/iPad の場合：

- iPhone/iPod/iPad をペアリング設定状態にする。「設定」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。Bluetooth に接続できるデバイスの一覧が表示されます。
- デバイスから「JBL Everest 100」を選択する。接続が完了すると、デバイス上で「接続されました」と表示されます。

携帯電話・スマートホンでハンズフリー接続を行う場合：

- 携帯電話・スマートホンでペアリング操作を行い、登録 / 接続する。（パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。）ハンズフリー通話をしたい場合は「ハンズフリー (HFP)」または「ヘッドセット (HSP)」、音楽再生のみ行いたい場合は「ワイヤレスステレオ (A2DP)」で接続してください。
 - 登録にはお使いの携帯電話・スマートホンの「端末暗証番号」が必要になる場合があります。
 - 機種によっては同時に接続できないものがあります。また、設定方法は機種により異なりますので、携帯電話・スマートホンの取扱説明書も合わせてご覧ください。

その他のデバイス（携帯電話・スマートホンなど）の場合：

- ペアリング設定状態にする。接続するデバイス側で、本機を検出可能な状態にします。お使いのデバイスの取扱説明書も合わせてご覧ください。（パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。）一部のデバイスでは、接続を確認するメッセージが表示されます。ペアリングが完了すると、ガイダンス（英語）が流れ Bluetooth インジケーターが点灯します。

ご注意

- Bluetooth は約 10m までの距離で接続できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- Bluetooth アンテナ部は本機の左チャンネルに搭載されています。たとえばズボンのポケットにデバイスを入れてお使いになる場合、左のポケットに入れることで、Bluetooth 接続の感度が良くなります。本機とデバイスの間に障害物などがあった場合、接続有効範囲は変わります。
- 以下の場合は、Bluetooth 接続に障害を起こす場合があります。このような場合、再生や通話が途切れることがあります。故障ではありません。使用環境を変えてご使用ください。
 - 金属製のかばんの中で使う場合
 - リュックなど背中に背負うかばんや肩にかけるかばんに入れて使う場合
 - 無線 LAN が構築されている場所、電子レンジ・携帯電話・通信機能のある携帯ゲーム機器などを使用中の周辺、またはその他電磁波が発生している場所など

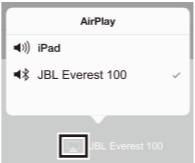
本機は一度ペアリングを行ったデバイスの情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、本機の電源を入れ、接続したいデバイスの Bluetooth をオンにするだけで Bluetooth 接続することができます。

▶ Bluetooth 再生を行う

Bluetooth 再生を行うには、ペアリングを行ったあと本機を再生機器として設定します。

iPhone/iPod/iPad で設定する

- iPhone/iPod/iPad 画面を下から上へスワイプする。
- アイコンをタップする。
- 「JBL Everest 100」をタップする。



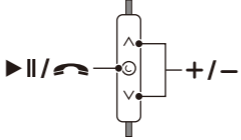
その他のデバイスで設定する

▶ 接続したデバイスで再生を始める。

接続するデバイスによって再生の手順は異なります。詳細については、接続するデバイスの取扱説明書も合わせてご覧ください。

▶ 基本操作

リモコンの音量ボタンとマルチファンクションボタンで以下のコントロールを行うことができます。



+ / −：音量を調整します。

マルチファンクションボタン (▶||)：

- 1 回押しと、再生 / 一時停止します。
- 2 回押しと、次の曲へスキップします。
- 3 回押しと、前の曲へバックスキップします。

マルチファンクションボタン (↶)：

携帯電話・スマートホンを Bluetooth でハンズフリー接続しているときは、ハンズフリーボタンになります。状態ごとの動作については、「ハンズフリー通話を行う」を参照してください。

▶ Bluetooth 接続を解除する

デバイス側で Bluetooth を「OFF」にし、接続を解除します。

▶ 本機の電源をオフにする

リモコンの電源ボタンを長押しします。

イヤホンからガイダンス（英語）から流れ、電源がオフになります。

▶ マルチポイント機能で 2 台目のスマートホン・携帯電話をペアリングする

本機は Bluetooth マルチポイント機能により、スマートホンを 2 台同時に Bluetooth 接続し、待ち受け状態にしておくことができます。

2 台目のスマートホン・携帯電話をペアリングしたい場合は、Bluetooth ボタンを押してペアリングモードにします。その後、接続したいデバイスをペアリング設定状態にし、ペアリングを行ってください。



ハンズフリー通話を行う

iPhone・携帯電話・スマートホンとハンズフリー (HFP) 接続すると、本機のマルチファンクションボタンで iPhone・携帯電話・スマートホンの簡単な操作を行うことができます。

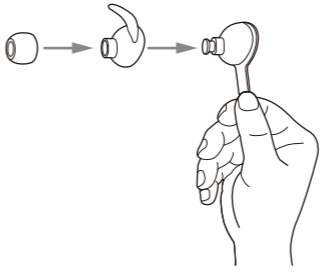
マルチファンクションボタンの操作		
状態	1 回押す	押し続ける
着信しているとき	電話を受けます。	着信拒否します。
通話中	電話を切ります。	本機から電話に通話を切り換えます。
通話中に別の着信があったとき	現在通話している電話を切り、着信している電話を受けます。	着信している電話を着信拒否します。
どちらの電話も着信 / 通話中のとき	両方の電話を切りま す。	押すごとに通話を切り換えます。

※ 機種により、一部の機能を使えない場合があります。
※ 携帯電話・スマートホンの取扱説明書も合わせてご覧ください。

スタビライザー / イヤチップを交換する

スタビライザー / イヤチップの交換は、以下の手順で行います。（本機にはあらかじめ M サイズのスタビライザー / イヤチップが装着されています。）

- イヤチップを取りはずす。
 - スタビライザーを取りはずす。
 - スタビライザーを取り付ける。スタビライザーをイヤホンにかぶせるようにして取り付けます。
 - イヤチップを取り付ける。イヤチップをイヤホンに差しこんで取り付けます。
- ※ スタビライザーを使わずにイヤチップのみでもご使用いただけます。



スタビライザー / イヤチップは消耗品です。日常の使用や長期の保存により劣化しますので、傷んできたときは交換してください。新品のスタビライザー / イヤチップを購入する場合は、弊社サービスセンターにお問い合わせください。

トラブルシューティング

原因	解決法
本機の電源ボタンを押しても電源が入らない。	本機が充電されているかご確認ください。
電源は入るが、音が出ない。	ペアリングされているかご確認ください。オーディオ機器の音量をご確認ください。オーディオ機器側の再生が一時停止になっていないかご確認ください。
音が歪む。	音量が上がらずすぎている場合は音量を下げてください。
ペアリングできない。	お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。別の機器と接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのペアリングされている Bluetooth 機器をすべてオフにし、本機の電源を入れ直してください。

主な仕様

タイプ	密閉ダイナミック型 Bluetooth ワイヤレス（カナル）
周波数特性	10Hz-22kHz
感度	96dB/mW
Bluetooth	バージョン：Bluetooth 4.1
伝送範囲	Class 2、通信距離約 10m（障害がない場合）
対応プロファイル	A2DP V1.3、AVRCP V1.5、HSP V1.2、HFP V1.6
入力	Bluetooth
対応コーデック	SBC
電池	リチウムイオン電池（充電式）
充電時間*	約 3 時間
連続使用時間*	音楽再生：約 8 時間
重量	16g（ケーブル含まず）

※ ・電池は消耗品です。正しい方法であっても充電・放電を繰り返すと徐々に使用できる時間が短くなります。また充電・再生時間は使用環境により異なります。
・高温状態で保管すると、電池性能の劣化が早まります。直射日光があたらず、風通しの良い涼しい場所で保管してください。

▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください。

▶ 本機の廃棄について

Li-ion
本機は内蔵電池として充電式リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルが可能です。本機がご不要となりましたら、一般ゴミなどと一緒に廃棄せず、弊社アフターサポートの窓口へご連絡ください。

ご注意

感電などの危険があるため、本機を絶対に分解しないでください。

▶ HARMAN Owners' Club

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。HARMAN Owners' Club（ハーマンオーナーズクラブ）は、ハーマンインターナショナル取り扱い製品ご愛用者のための会員プログラムです。会員様に向けたさまざまな特典やサービスをお届けします。

https://www.harman-ownersclub.jp

このアドレスからアクセスしてください。

携帯電話（フィーチャーホン）からはご登録できませんのでご注意ください。

▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

http://jbl.harman-japan.co.jp/support/

Tel：0570-550-465（ナビダイヤル）

受付時間：土日・祝日・年末年始を除く、平日 9:30 ～ 17:30



ハーマンインターナショナル株式会社

© 2016 Harman International Japan Co., Ltd. All rights reserved.